

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	2019年11月14日
【四半期会計期間】	第29期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
【会社名】	株式会社サンマルクホールディングス
【英訳名】	Saint Marc Holdings Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 網嶋 耕二
【本店の所在の場所】	岡山市北区平田173番地104
【電話番号】	086-246-0309（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員管理本部長 難波 篤
【最寄りの連絡場所】	岡山市北区平田173番地104
【電話番号】	086-246-0309（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員管理本部長 難波 篤
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第28期 第2四半期 連結累計期間	第29期 第2四半期 連結累計期間	第28期
会計期間	自2018年4月1日 至2018年9月30日	自2019年4月1日 至2019年9月30日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高 (千円)	34,846,931	35,845,091	70,073,336
経常利益 (千円)	3,255,877	3,115,404	6,569,574
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	1,470,330	1,620,921	2,908,564
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,465,825	1,619,391	2,897,729
純資産 (千円)	48,287,326	47,666,989	46,708,146
総資産 (千円)	59,458,215	58,871,234	59,034,568
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	66.19	76.09	131.84
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	81.2	81.0	79.1
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	3,757,280	4,334,352	7,793,097
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,992,881	1,707,962	3,640,621
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	869,698	841,006	4,061,180
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	14,375,887	15,357,865	13,572,482

回次	第28期 第2四半期 連結会計期間	第29期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自2018年7月1日 至2018年9月30日	自2019年7月1日 至2019年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	37.23	40.26

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出に弱含みの動きがみられるものの企業収益や雇用環境の改善が継続し、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、緊迫化する中東情勢や米国を中心とする通商問題の動向など、海外経済の不確実性が懸念され、景気の先行きは不透明感を増しつつ推移いたしました。

外食業界におきましては、原材料価格の上昇や長引く人手不足に伴う人件費高騰を主な要因としたコスト高の基調が続いております。また、生活防衛・節約志向が根強い中において、消費税率の引き上げによる可処分所得へのマイナス影響や駆け込み需要の反動減など、個人消費を押し下げる圧力が高まることも懸念され、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような中、当社グループにおきましては、人員体制の整備を進めるとともに、メニュー構成の工夫などにより、既存店売上の強化に取り組んでまいりました。また、安定的な出店を継続することや派生業態の開発・実験に努めるなど、中長期でのグループの持続的な成長基盤の構築、顧客満足度向上に資する取り組みに注力してまいりました。

新規出店の状況につきましては、当第2四半期連結累計期間中にベーカリーレストラン・サンマルク1店舗、生麺工房鎌倉パスタ直営店6店舗、すし処函館市場直営店1店舗、神戸元町ドリア直営店1店舗、サンマルクカフェ直営店4店舗、倉式珈琲店直営店6店舗をそれぞれ出店（当第2四半期連結累計期間出店数：直営店19店舗）し、これにより当社グループ全業態の当第2四半期連結会計期間末の合計店舗数は、直営店898店舗、フランチャイズ店32店舗、合計930店舗体制となりました。

これらの結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高358億45百万円（前年同期比2.9%増）、経常利益31億15百万円（同4.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億20百万円（同10.2%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

レストラン事業売上高は195億5百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益は20億55百万円（同4.7%減）となりました。

喫茶事業売上高は161億47百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益は16億88百万円（同7.7%減）となりました。

## (2) 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は588億71百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億63百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は194億9百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億71百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が17億85百万円増加した一方、売掛金が12億40百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は394億62百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億35百万円の減少となりました。これは主に減価償却等により建物及び構築物が1億51百万円減少したこと及び非連結子会社への貸付金等に対する貸倒引当金が4億17百万円増加したこと等によるものであります。

負債の部では、流動負債は71億81百万円となり、前連結会計年度末と比較して9億87百万円の減少となりました。これは主に買掛金が3億9百万円減少し、未払金が6億70百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は40億22百万円となり前連結会計年度末と比較して1億34百万円の減少となりました。これは主に店舗設備の割賦購入による長期未払金が1億80百万円減少した一方、直営店出店に伴う資産除去債務が98百万円増加したこと等によるものであります。

純資産の部は前連結会計年度末と比較して9億58百万円増加し、476億66百万円となりました。この結果、自己資本比率は81.0%となりました。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前四半期純利益25億71百万円の確保等により、前連結会計年度末と比較して17億85百万円増加し、153億57百万円となりました。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は43億34百万円となり、前年同四半期連結累計期間と比較して5億77百万円の増加(前年同期比15.4%増)となりました。

この主なものは、税金等調整前四半期純利益25億71百万円の獲得、減価償却費16億5百万円の発生、売上債権の減少12億40百万円及び法人税等の支払が10億22百万円発生したこと等によるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は17億7百万円となり、前年同四半期連結累計期間と比較して2億84百万円の減少(同14.3%減)となりました。

この主なものは、事業拡充のための有形固定資産の取得による支出14億16百万円、海外における業態実験のための非連結子会社への貸付けによる支出1億75百万円を行ったこと等によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は8億41百万円となり、前年同四半期連結累計期間と比較して28百万円の減少(同3.3%減)となりました。

この主なものは、配当金の支払6億60百万円の資金支出を行ったこと及び割賦債務の返済による支出が1億80百万円発生したこと等によるものであります。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (5) 研究開発活動

該当事項はありません。

## 3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

## 第3【提出会社の状況】

## 1【株式等の状況】

## (1)【株式の総数等】

## 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

## 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月14日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	22,777,370	22,777,370	東京証券取引所 市場第一部	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
計	22,777,370	22,777,370	-	-

## (2)【新株予約権等の状況】

## 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

## 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

## (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

## (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
2019年7月1日 ~ 2019年9月30日	-	22,777,370	-	1,731,177	-	14,355,565

## (5)【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
片山 智恵美	岡山市南区	4,225	19.84
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	東京都中央区晴海1丁目8番11号	1,912	8.98
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	東京都港区浜松町2丁目11番3号	1,056	4.96
株式会社クレオ	岡山市南区東畦155-18(1501)	1,030	4.84
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	ONE LINCOLN STREET, BOSTON MA USA 02111 (東京都中央区日本橋3丁目11番1号)	727	3.41
THE BANK OF NEW YORK MELLON (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	225 LIBERTY STREET, NEW YORK, NEW YORK, U.S.A. (東京都港区港南2丁目15番1号)	564	2.65
GOVERNMENT OF NORWAY (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	BANKPLASSEN 2, 0107 OSLO 1 OSLO 0107 NO (東京都新宿区新宿6丁目27番30号)	526	2.47
株式会社中国銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行株式会社)	岡山市北区丸の内1丁目15番20号 (東京都中央区晴海1丁目8番12号 晴海アイランド トリトンスクエア オフィスタワーZ棟)	485	2.28
伊藤忠商事株式会社	東京都港区北青山2丁目5番1号	480	2.26
BNYM NON-TREATY DTT (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	225 LIBERTY STREET, NEW YORK, NEW YORK 10286, USA (東京都千代田区丸の内2丁目7番1号)	388	1.83
計	-	11,398	53.51

(注) 1. 当第2四半期会計期間末日現在における信託銀行の信託業務に係る株式数については、当社として把握することができないため記載しておりません。

2. 上記のほか、自己株式が1,474千株あります。

## (6)【議決権の状況】

## 【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,474,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 21,235,800	212,358	-
単元未満株式	普通株式 67,470	-	-
発行済株式総数	22,777,370	-	-
総株主の議決権	-	212,358	-

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が300株含まれております。

2. 「単元未満株式」の株式数の欄には、証券保管振替機構名義株式4株、自己保有株式91株が含まれております。

## 【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社サンマルクホールディングス	岡山市北区平田 173番地104	1,474,100	-	1,474,100	6.47
計	-	1,474,100	-	1,474,100	6.47

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、PwC京都監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,572,482	15,357,865
売掛金	4,611,328	3,370,537
原材料及び貯蔵品	328,225	325,910
その他	444,537	371,599
貸倒引当金	19,378	16,881
流動資産合計	18,937,195	19,409,032
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,722,533	20,571,388
土地	3,894,354	3,894,354
その他(純額)	1,855,708	1,753,133
有形固定資産合計	26,472,596	26,218,876
無形固定資産		
その他	166,557	172,314
無形固定資産合計	166,557	172,314
投資その他の資産		
敷金及び保証金	9,569,496	9,598,121
その他	4,591,834	4,593,842
貸倒引当金	703,112	1,120,951
投資その他の資産合計	13,458,219	13,071,012
固定資産合計	40,097,373	39,462,202
資産合計	59,034,568	58,871,234
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,388,137	2,078,639
未払金	4,062,542	3,392,447
未払法人税等	869,727	711,498
引当金	74,759	211,077
資産除去債務	14,475	10,229
未払消費税等	458,051	467,808
その他	301,584	309,759
流動負債合計	8,169,280	7,181,461
固定負債		
長期未払金	528,062	347,323
退職給付に係る負債	216,623	229,459
事業整理損失引当金	63,784	-
資産除去債務	3,226,977	3,325,693
その他	121,693	120,307
固定負債合計	4,157,141	4,022,783
負債合計	12,326,421	11,204,245

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,731,177	1,731,177
資本剰余金	3,039,016	3,039,016
利益剰余金	45,504,717	46,465,238
自己株式	3,578,650	3,578,798
株主資本合計	46,696,261	47,656,633
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,885	10,355
その他の包括利益累計額合計	11,885	10,355
純資産合計	46,708,146	47,666,989
負債純資産合計	59,034,568	58,871,234

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第 2 四半期連結累計期間】

( 単位 : 千円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2018年 4月 1日 至 2018年 9月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年 9月30日)
売上高	34,846,931	35,845,091
売上原価	7,577,952	7,749,900
売上総利益	27,268,978	28,095,191
販売費及び一般管理費	1 24,052,072	1 25,056,322
営業利益	3,216,906	3,038,869
営業外収益		
受取利息	3,685	3,332
受取配当金	1,220	1,357
受取賃貸料	92,484	97,383
その他	42,081	74,131
営業外収益合計	139,471	176,204
営業外費用		
支払賃借料	77,137	82,205
その他	23,362	17,464
営業外費用合計	100,500	99,669
経常利益	3,255,877	3,115,404
特別利益		
受取保険金	103,703	11,706
特別利益合計	103,703	11,706
特別損失		
固定資産除却損	93,243	109,742
減損損失	95,675	19,677
関係会社株式評価損	749,792	-
貸倒引当金繰入額	-	420,886
災害による損失	58,397	5,420
特別損失合計	997,108	555,726
税金等調整前四半期純利益	2,362,471	2,571,384
法人税、住民税及び事業税	1,010,762	845,129
法人税等調整額	118,621	105,333
法人税等合計	892,141	950,463
四半期純利益	1,470,330	1,620,921
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,470,330	1,620,921

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,470,330	1,620,921
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,505	1,529
その他の包括利益合計	4,505	1,529
四半期包括利益	1,465,825	1,619,391
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,465,825	1,619,391
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,362,471	2,571,384
減価償却費	1,629,919	1,605,640
減損損失	95,675	19,677
賞与引当金の増減額(は減少)	132,641	136,318
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	17,025	12,835
貸倒引当金の増減額(は減少)	701,070	415,342
事業整理損失引当金の増減額(は減少)	-	63,784
受取利息及び受取配当金	4,905	4,689
受取保険金	103,703	11,706
関係会社株式評価損	749,792	-
固定資産除却損	93,243	109,742
災害損失	58,397	5,420
売上債権の増減額(は増加)	525,506	1,240,791
たな卸資産の増減額(は増加)	14,134	2,345
仕入債務の増減額(は減少)	391,947	309,497
未払金の増減額(は減少)	402,203	518,944
その他	788,992	145,004
小計	4,835,702	5,355,879
利息及び配当金の受取額	1,225	1,361
保険金の受取額	59,114	-
法人税等の支払額	1,138,762	1,022,888
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,757,280</b>	<b>4,334,352</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	1,506,338	1,416,321
無形固定資産の取得による支出	36,209	20,008
関係会社貸付けによる支出	260,000	175,000
関係会社出資金の払込による支出	70,000	-
資産除去債務の履行による支出	39,420	66,382
その他	80,912	30,250
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,992,881</b>	<b>1,707,962</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	250	148
配当金の支払額	688,709	660,119
割賦債務の返済による支出	180,738	180,738
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>869,698</b>	<b>841,006</b>
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	894,700	1,785,383
現金及び現金同等物の期首残高	13,481,187	13,572,482
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,375,887	15,357,865

【注記事項】

( 継続企業の前提に関する事項 )

該当事項はありません。

( 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更 )

該当事項はありません。

( 会計方針の変更 )

該当事項はありません。

( 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理 )

該当事項はありません。

( 追加情報 )

該当事項はありません。

( 四半期連結貸借対照表関係 )

偶発債務

前連結会計年度 ( 2019年 3月31日 )

当社は、関係会社であるSAINT MARC USA INC.の建物の賃貸借契約にかかる賃借料等について支払保証を行っております。なお、当連結会計年度末における賃貸借契約の残存契約年数は最も長いもので9年であり、月額賃借料総額は最大で70,876.15米ドルであります。

当第2四半期連結会計期間 ( 2019年 9月30日 )

当社は、関係会社であるSAINT MARC USA INC.の建物の賃貸借契約にかかる賃借料等について支払保証を行っております。なお、当第2四半期連結会計期間末における賃貸借契約の残存契約年数は最も長いもので9年であり、月額賃借料総額は最大で70,876.15米ドルであります。

( 四半期連結損益計算書関係 )

1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年 4月 1日 至 2018年 9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年 9月30日)
給与賞与	9,622,418千円	10,300,542千円
賞与引当金繰入額	131,882千円	136,203千円
賃借料	5,609,623千円	5,704,240千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金勘定	14,375,887千円	15,357,865千円
現金及び現金同等物	14,375,887千円	15,357,865千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月26日 定時株主総会	普通株式	688,615	31.00	2018年3月31日	2018年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年11月14日 取締役会	普通株式	688,612	31.00	2018年9月30日	2018年12月10日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月26日 定時株主総会	普通株式	660,400	31.00	2019年3月31日	2019年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年11月13日 取締役会	普通株式	660,398	31.00	2019年9月30日	2019年12月10日	利益剰余金



(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報 告 セ グ メ ン ト		合 計	調 整 額 (注)1・2	四半期連結損益計算書 計上額 (注)3
	レストラン	喫茶			
売上高					
外部顧客への売上高	19,026,563	15,694,177	34,720,741	126,190	34,846,931
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	19,026,563	15,694,177	34,720,741	126,190	34,846,931
セグメント利益	2,155,943	1,829,694	3,985,637	768,730	3,216,906

(注)1. 外部顧客への売上高の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上であります。

- セグメント利益の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上原価37,701千円、各報告セグメントに配分していない全社費用857,219千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
- セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」及び「喫茶」セグメントにおいて、固定資産に係る重要な減損損失は認識していないため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1・2	四半期連結損益計算書 計上額 (注)3
	レストラン	喫茶			
売上高					
外部顧客への売上高	19,505,820	16,147,646	35,653,467	191,624	35,845,091
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	19,505,820	16,147,646	35,653,467	191,624	35,845,091
セグメント利益	2,055,109	1,688,972	3,744,081	705,212	3,038,869

(注)1. 外部顧客への売上高の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上であります。

2. セグメント利益の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上原価50,871千円、各報告セグメントに配分していない全社費用845,966千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」及び「喫茶」セグメントにおいて、固定資産に係る重要な減損損失は認識していないため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(金融商品関係)

第2四半期連結貸借対照表計上額と時価との差額及び前連結会計年度に係る連結貸借対照表計上額と時価との差額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(有価証券関係)

前連結会計年度末日に比べて著しい変動がないため、記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益	66円19銭	76円09銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円)	1,470,330	1,620,921
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益(千円)	1,470,330	1,620,921
普通株式の期中平均株式数(株)	22,213,346	21,303,211

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

2019年11月13日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

1. 配当金の総額 660,398千円
2. 1株当たりの金額 31円
3. 支払請求の効力発生日及び支払開始日 2019年12月10日

(注) 2019年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月14日

株式会社サンマルクホールディングス  
取締役会 御中

### P w C 京都監査法人

指定社員 公認会計士 松 永 幸 廣 印  
業務執行社員

指定社員 公認会計士 鍵 圭 一郎 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンマルクホールディングスの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンマルクホールディングス及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。